

女性なら誰でも
かかる可能性の
ある病気

「子宮頸がん」ってどんな病気？



子宮頸がんは子宮の入り口にできるがんで、20～30歳代の若い女性の発症が増えています。

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス(HPV)の持続的な感染が原因となって発症します。HPVは10人に8人の女性が生涯に一度は感染する、ごくありふれたウイルスです。

ほとんどが性交渉により感染し、免疫の働きなどで自然に治る人がほとんどですが、中には子宮頸がんを発症する場合があります。

子宮頸がんは、初期の段階ではあまり自覚症状が現れません。20歳になったら2年に1回、定期的に検診を受けましょう。

津市子宮がん検診の
詳しい情報はこちら
でご確認ください。



HP 津市がん検診

検索

子宮頸がん予防接種のお知らせ

子宮頸がん予防ワクチンには、サーバリックス(2価)とガーダシル(4価)の2種類があり、接種完了には6カ月程度の期間が必要です。同じワクチンを3回接種します。

※ヒトパピローマウイルス(HPV)の中には、子宮頸がんを起ししやすい種類のウイルスがあります。子宮頸がん予防ワクチンは、このうち一部の感染を防ぎ、そのことにより子宮頸がんの原因の約50～70%を防ぐことができます。

平成25年の厚生労働省からの通知により、積極的な接種勧奨を一時的に控えています。予防接種を希望する場合は、定期接種として受けることができますので、かかりつけ医にご相談ください。

対象 小学6年生～高校1年生に相当する年齢の女性(令和2年度の対象者は、平成16年4月2日～

平成21年4月1日生まれの人)

※平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの人は、接種対象の期間が令和3年3月31日までです。

※子宮頸がん予防接種の予診票の交付申請は、津市ホームページからオンライン申請することができます。また、各保健センターの窓口でも予診票の交付を行っていますので、母子健康手帳を持ってお越しください。

子宮頸がん予防接種の
詳しい情報はこちらで
ご確認ください。



HP 津市 子宮頸がん予防接種

検索

津市健康づくり実践団体取り組み紹介

健康づくり実践団体とは、日頃の活動を通して、津市第3次健康づくり計画の取り組みを進めている団体やグループです。今回は、美里地域で活動している「パワーズ」の取り組みについて代表者にインタビューをしました。

Q どのような活動をされていますか？

A 毎年秋に小学生100人を対象にした、経ヶ峰登山を10年間続けています。また、地域の子もたちと高齢者が一緒になって、ふれあい競技大会や餅つきを開催しています。そのほか、廃品回収やサンタになってのプレゼント配りなど地域に根ざした活動をしています。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行い、感染状況を考慮しながら活動しています。今後も行事などを通じて運

動や減塩のチラシを参加者に配布し、塩分の摂りすぎを見直すなどの声掛けも計画しています。

Q どのような思いで取り組んでいますか？

A 地域を元気にするため、子どもたちと共に活動の輪を広げ、お年寄りがいつまでも安心して元気に暮らせる郷土づくりをとの思いでパワーズが中心となり取り組んでいます。



経ヶ峰登山の様子



餅つきの様子